【広域連携事業】 【茨城県、栃木県】

茨城栃木交流圏域における観光振興による広域的地域活性化

茨城県県北・県西地域と栃木県県東・県南地域においては、豊かな自然や多様な観光地が数多く分布している一方で、人口減少や少子高齢化が顕著で、地域の活力が減少しているところである。

このため、観光バスなどの大型車のすれ違いが困難な幅員狭小箇所や見通しの悪い箇所の道路整備を実施し、茨城・栃木両県境に広がる観光圏域へのアクセス性を高めることにより、当地域の広域的な観光振興を促進させ、地域の活性化を図る。





1. 計画期間

平成26年度~平成30年度

2. 計画の目標

茨城栃木両県が連携することにより、県域を越えた広域的な観光振興を促進させ、地域の活性化を 図る。

3. 目標を定量化する主な指標

計画地区内観光入込客数の増加 713万人(H26)→754万人(H30)

4. 主な事業

観光拠点へのアクセス性を向上させる道路整備, 両県連携で実施する広域周遊観光ルート調査及び 観光マップ作成等



中国山地の豊かな自然を活かした広域観光活性化計画

中国山地の豊かな自然と、歴史文化施設や温泉地などの観光拠点を有する岡山県と鳥取県が連携し、中国横断自動車道岡山米子線の米子自動車道、中国縦貫自動車道、平成24年度全線開通した 中国横断自動車道姫路鳥取線の鳥取自動車道及び現在整備が進んでいる地域高規格道路北条湯原道路を軸として、観光拠点へのアクセス性を向上させ、山陰と山陽を結ぶ広域的な観光エリアとし ての魅力を高め、観光入込客の増加など地域の活性化を図る。

